

二二二六番

秋萩あきはぎは 雁かりに逢あはじと 言いへればか 声こゑを聞ききて
は 花はなに散ちりぬる

二二二七番

秋あきさらば 妹いもに見みせむと 植うゑし萩はぎ 露霜つゆしも負おひて
散ちりにけるかも